

ふるさと納税を活用した 地域産業支援



当行では、2021年4月より頭取直轄の「地方創生プロジェクトチーム」を設置し、まちづくりファンドによる遊休不動産活用や、未活用文化財等の観光資源化など、地域特性を活かした地方創生施策に取り組んでいます。外部専門家とも連携し、地方創生を実現するためのコンサルティングサービスのひとつとして行っているのが、自治体が行う「ふるさと納税」への支援です。「ふるさと納税」の返礼品として選ばれている地産品やサービスを強化することで、地域の事業者を支援するとともに、自治体の税収増加に貢献することを目指しています。

2020年5月より合同会社 口福ラボの菅 慎太郎氏を地方創生アドバイザーとして招き、ふるさと納税の返礼品を活用した地方創生や、食品に関連する地元事業者への商品開発支援の分野などにおいて、連携しております。

支援イメージ

鳥取銀行 地方創生プロジェクトチーム等



2020年5月より
「地方創生アドバイザー」として口福ラボの菅氏と連携

口福ラボ

合同会社 口福ラボの会社概要

| | |
|------|-------------------------------------|
| 代表者 | 代表社員 菅 慎太郎 (味覚コンサルタント) |
| 所在地 | 東京都新宿区西新宿三丁目7番1号 新宿パークタワー30階 |
| 設立 | 2013年3月 |
| 事業内容 | 商品開発に関するコンサルティング、商品の販売促進・マーケティング支援等 |

商品に関するコンサルティング支援

地域事業者



期待される効果

- 通販サイトなどECでの販路開拓
- 道の駅など店頭での販売強化
- 新商品の開発や既存商品の改良につながる

ふるさと納税返礼品の提供

自治体



期待される効果

- 地元事業者の成長による地域活性化
- 魅力的な返礼品の増加による税収増加

支援1 有限会社田中農場さまの「白ねぎ香る白ねぎぼん酢」を商品改良

鳥取県特産の白ねぎを生産・販売する田中農場さまの「白ねぎ香る白ねぎぼん酢」のリニューアルを支援しました。単身世帯の増加や核家族化というトレンドを踏まえ、消費者のニーズに合わせたサイズや量をご提案したほか、「道の駅」などで手に取ってもらいやすいような商品パッケージの変更、味の改良等を支援しました。同商品は、味の世界的品評会ITI（国際味覚審査機構）の2021年度審査において二ツ星を獲得しています。

有限会社田中農場の会社概要

| | |
|------|---------------------------|
| 代表者 | 代表取締役 田中 里志 |
| 所在地 | 鳥取県八頭郡八頭町下坂442番地 |
| 事業内容 | 米、白ねぎ、大豆等の生産および調味料等の加工・販売 |

田中農場



支援2 琴浦町・琴浦商工会主催 鳥取銀行協力「ふるさと納税返礼品事業者向けセミナー」を実施

ふるさと納税の返礼品を通して自社の商品力を高めていく方法などについて菅氏が講演し、地元の事業者さま約40名にお集まりいただきました。「商品開発への関心が高まった」など多くの方にご好評いただきました。



ふるさと納税は、EC(電子商取引)の中でも、地方の事業者が取り組みやすく、地域に還元されやすい仕組みです。返礼品として選ばれることで、地元の事業者さまがECに参入し、販路を拡大することができます。観光客向けには「道の駅」等で商品を販売し、地域外の消費者向けにはECで販売するなど、2つの販路でアプローチすることで、事業の成長を促進し、地域経済の活性化にもつながると考えています。

ふるさと納税について

「ふるさと納税」とは、納税者が現在住んでいる自治体以外の自治体に寄付できる制度です。「ふるさと納税」を行った人は、寄付額のうち2,000円を超える部分について、所得税の還付・住民税の控除*が受けられるほか、自治体が用意している返礼品を受け取ることができるなど、さまざまなメリットがあります。

新型コロナウイルスの感染拡大により巣ごもり消費が増加した2020年度は、全国のふるさと納税の寄付件数が前年の1.5倍、納付額は過去最高の6,724億円となり、多くの人の注目を集めています。

* 控除には一定の上限があり、上限額は収入や家族構成により異なります。



合同会社 口福ラボ
菅 慎太郎氏